

安全報告書



2025年

熊本電気鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

日頃より弊社鉄道事業に対しまして、ご支援・ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社としましてもお客様の安全確保を最優先の目標として、様々な設備投資を行い、地域の皆様をはじめとしたご利用いただく全てのお客様に信頼していただける公共交通機関を目指し、日々努力いたしております。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、皆様に広くご理解を頂くために公表するものです。

今後とも、より安全で快適な輸送のために、ご意見・ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

代表取締役 中島敬高

2. 基本方針と安全目標

2.1 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。安全に関する基本方針を次のように掲げ、安全輸送に努めております。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。

安全に関する行動方針は次のとおり定めております。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

2.2 安全目標

2024年度の安全目標を次のとおり定めております。

区分	項目	内容
定量的な目標	列車事故(衝突・脱線・火災)	有責事故 0
	乗客の死傷事故	死傷者数 0
	踏切故障に伴う事故	発生件数 0

2. 3 目標に対する実績

安全目標に対する過去3年間の実績は次のとおりです。

年 度	2022	2023	2024
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0
乗客の死傷事故	0	0	0
踏切故障に伴う事故	0	0	0

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

3. 1 鉄道運転事故

過去3年間の鉄道運転事故の発生状況は次のとおりです。

※（ ）は死傷者数を示しております。

事故の種類	2022	2023	2024
踏切障害事故	0 (0)	3 (0)	7 (0)

2024年度の踏切事故は7件発生しております。今後、踏切事故0にするためにも踏切を通過される場合は、必ず踏切の手前で一旦停止していただき、左右の確認並びに列車の接近する音を確認していただき、踏切事故の防止をお願いいたします。

当社の列車運転士にも前方注視を怠ることなく、異常事態の早期発見で事故防止に努めるよう指導を行っておりますので、皆様にも踏切事故防止にご協力をお願いいたします。

3. 2 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2024年度は、雷害（2件）、気温上昇（1件）、震害（1件）による運休が発生しております。

3. 3 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2024年度の輸送障害は9件発生いたしました。

内訳は次のとおりです。

- ① 踏切障害によるもの・・・・・・・・・・4件
- ② 雷害によるもの・・・・・・・・・・2件
- ③ 震害によるもの・・・・・・・・・・1件
- ④ 気温上昇によるもの・・・・・・・・・・1件
- ⑤ その他・・・・・・・・・・1件

列車の運休におきましては、ご利用のお客様にご迷惑をかける結果となるため、今後も再発防止に最善を尽くし、皆様に少しでもご迷惑をおかけしないように努力して参ります。

3. 4 インシデント（事故の兆候）

2024年度、九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

（注釈）インシデントとは事故に繋がる恐れのある事

3. 5 行政指導等

2024年度は、国土交通省からの行政指導は受けておりませんが、今後も皆様を安全・快適に輸送するために、安全確保に努力をしております。

4. 輸送の安全確保のための取組み（安全重点施策）

4. 1 安全重点施策

2024年度の安全重点施策は次のとおり定めております。

【安全目標】

- ① 列車脱線・列車衝突・列車火災事故：0
- ② 乗客の死傷事故並びに関係する作業員の触車事故：0
- ③ 踏切故障に伴う事故発生件数：0

【取組計画】

- ① 保安監査指摘内容の見直し対応並びに精査
- ② 要員確保による業務負担軽減
- ③ 老朽化施設の保守・管理
- ④ 新入社員等への教育並びに現任教育の実施

4. 2 安全重点施策に対する実績

4. 2. 1 職員への教育

(1) 技術課・車両課員の教育

緊急地震速報が発報され、震度4以上の地震が発生した場合の巡回時の方法等の教育並びに風水害時や土砂災害時の注意点等の教育を行いました。

また、社外教育として2024年11月6日技術課員に軌道の維持管理講習会における技術継承研修会を実施しました。

(2) 運輸課員の教育

震度7の地震が発生したとの想定で、緊急地震速報を受報した司令担当者が全列車に対し、列車無線での停止指示の通告訓練を行いました。

また、テロ対策講習として不審者・不審物に対する対処訓練や護身術実践講習を警察やJR熊本駅入構各会社と合同で実施しました。

4. 2. 2 設備対策

(1) 改良工事等

- ・電柱のコンクリート化工事、踏切遮断機並びに閃光灯の交換工事、踏切道改修工事、法面補修工事、レール交換工事、架線張替え工事、コンクリートまくら木化工事、道床改良工事を行いました。

(2) その他の安全対策

- ・線路関係、電路関係、車両関係共に規定に基づく定期検査を期限内に実施し、老朽化等により補修が必要なものについては補修を行い、列車の安全運行を保つ環境整備を行いました。

4. 3 鉄道事業の安全に対する設備投資額

過去3ヶ年の安全に対する設備投資額は以下のとおりとなります。

単位：千円

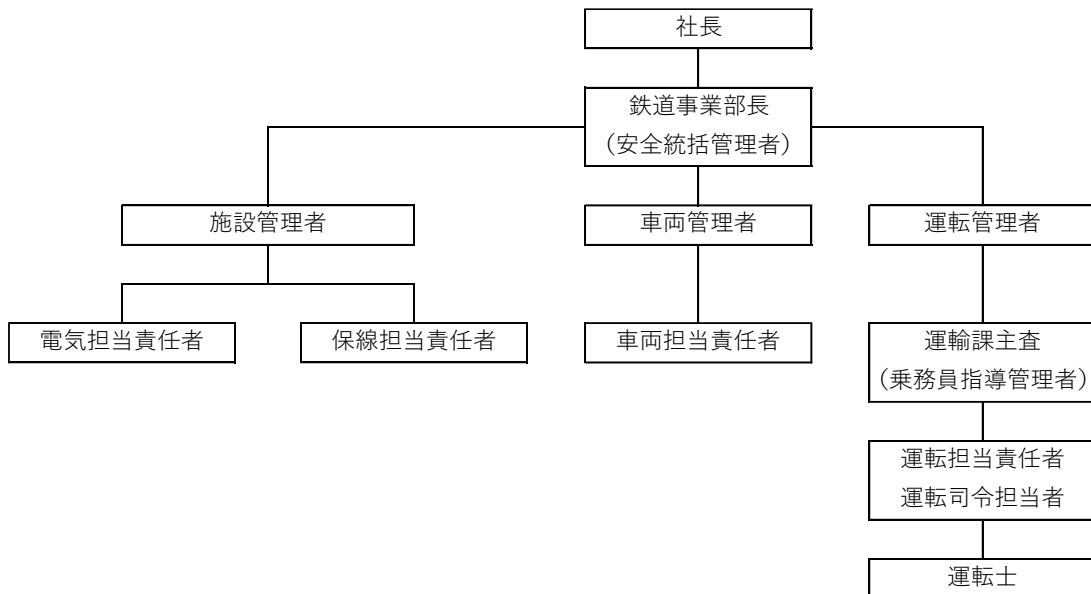
年 度	2022	2023	2024
安全関連設備投資額	37,706	166,212	59,822

2024年度の安全に対する主な投資につきましては、車両更新、レール交換工事等となります。

5. 当社の安全管理体制

5. 1 安全管理組織

当社では社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保のための役割を担っております。



2025年4月現在

5. 2 安全管理

安全統括管理者を選任するとともに、経営者をはじめ輸送の安全の確保に係る役割を定めております。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	運転に関する事項を統括する。
運輸課主査 乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者指揮の下、車両に関する事項を統括する。

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

6. 1 こども110番の駅

当社の北熊本駅では『こども110番の駅』として、地域の子供達を守る為の取組みを行っております。

[主旨]

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、親しみやすい駅づくりを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。

6. 2 自転車の列車内持ち込みについて

自転車の列車内持ち込みは、雨・雪など自転車が濡れる天気を除き、平日は持ち込める時間帯を決めております。

当社の指定する日曜・祝日・年末年始以外の日曜・祝日は、終日持ち込み可能です。

[持ち込みについてのお願い]

- ・ 時間帯：平日・土曜の午前9時から午後3時30分まで（ラッシュ時間帯を除いたもの）
- ・ 雨の日及び雪の日など、自転車が濡れるような日の持ち込みはお断り致します。
(他のお客様の服などを汚す恐れがあるため)
尚、晴れの日でも団体等、多くの乗車がある場合にはお断りすることがあります。
- ・ 電車内は最前部が運賃支払い場所となっているため、自転車は後部車両に乗せていただき、安全のため必ず手で支えて下さい。

自転車の列車内持ち込みルールを守って頂き、ご利用をお願い致します。

6. 3 踏切、横断歩道での現地立ち合い

会社の役職者により、各交通安全運動並びに年末年始輸送に関する安全総点検期間中、鉄道の踏切や路線バスの沿線の横断歩道に、通勤・通学時間帯に会社の腕章を着けて立ち、地元の方々と共に、交通安全に対する取組みを積極的に行なっております。

6. 4 電車車庫見学の誘致

毎年秋頃を実施されます園児、小学生の校外学習の際に、列車乗車体験、運賃支払い体験として、2024年度は52団体ほど来社されており、その内9団体から車庫見学の依頼がございました。

車庫見学を行なう中で、電車にはハンドルがないため線路内で遊ぶことや置石をすることは危険な行為であることを実際の電車やポイントを使って学習していただくことで、列車事故や輸送障害の防止に努めております。

7. 問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

熊本電気鉄道(株)北熊本駅

TEL 096-343-2552 FAX 096-343-2508

E-mail rail@kumamotodentetsu.co.jp

■月～金 8:30～17:30 (土日・祝日を除く)